

中央小だより

比布町立中央小学校

5月号②

令和2年5月29日

文責 吉田 明弘

前を向いて

中央小学校長 紺野元樹

分散登校では子どもたちの元気な姿を見ることができ、少しホッとしました。長期にわたる休校では、保護者の皆さんにも大変なご負担をおかけしました。6月から学校再開となりますが、終息が見通せない新型コロナウイルスとは、感染予防に十分努めながら、つきあっていく覚悟が必要なようです。そのため、例年通りの教育活動は望めません。運動会や修学旅行の延期など行事の変更については、5月19、20日の分散登校で文書をお配りしましたが、長期休業の短縮、今後の行事の方向性についても後日改めてお知らせします。

私は例年、4月、5月は学校を空ける日も多いのですが、今年是对外的な会議なども全て中止になったので、いろいろと考える時間がありました。ふと、「教師になりたいと思ったのはなぜだったかな」「どうして今もこの仕事を続けているのかな」と問い直してみました。「子どもが好きだから教師になったんだよなあ」「子どもの『先生わかった!』という笑顔や一生懸命取り組む姿が見たいから、自分も頑張ったんだよなあ」と再確認しました。しかし、子どもがいない学校という現実の前に気持ちが沈み、「何にもできないじゃないか」と、新型コロナウイルスに対する自分の無力感にため息をつくばかりでした。そんな中、改めて気持ちを奮い立たせてくれる言葉に出会いました。

ご存じのように、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、様々な大会、イベントが中止になりました。高校生たちが目標としてきた、吹奏楽・合唱コンクール、高校総体や夏の甲子園もそうです。生徒の悔しさは計り知れません。しかし、いちばん辛いであろう高校生から、「この困難に直面したのは自分たちの代が初めて。逆に良い経験だと思って乗り越えていきたい」(北海道 野球部主将) 「命を最優先とする決断が一番正しいと思う。悔しい気持ちはあるが、次のステージに向けて今後も頑張りたい」(北海道 野球部主将) 「これで終わりではない。後輩が優勝するために協力し、卒業後に悔しい思いを晴らすためにも頑張る」(福岡県 剣道部主将) 「これで活動が終わる訳じゃない。少しでも前向きに『コンクールだけが全てじゃない』というところも見せていければ」(千葉県 吹奏楽部部長)という声が聞かれました。

なんと素晴らしく、なんと強い子どもたちでしょう。何もやっていない私が、「下を向いてはいられない」と思い、気合いを入れ直しました。

限られた条件の中で、今後も満足な活動はできないかもしれませんが、しかし、最初から「これは無理だ」とあきらめるのではなく、「どうしたら実現可能か」「少しでもよい方法はないか」をみんなで知恵を出し合いながら、私たちは前を向いて進んでいきます。子どもたちの笑顔のために。

保護者の皆さんも今までの生活様式が取り戻せず、たいへんな状況かと思いますが、可能な範囲で結構ですので、お力をお貸しください。どうぞよろしく申し上げます。

分散登校の様子から

19日から奇数学年・偶数学年ごとの分散登校が始まりました。4月の時と同様に、3つの密を避けるため、定期的な換気、身体的距離の確保、消毒作業等の対策を施しながら、学習活動を進めています。また、ご家庭のご協力もあり、手洗い・マスク着用はもちろん、子ども達自身も「新しい生活様式」に適應してきていることを感じます。大変ありがとうございます。

学校再開後も、感染リスクを可能な限り低減しつつ、教育活動を行っていきます。



- 1日(月) 朝会
- 4日(木) 知能検査(2・5年)
職員会議〈全校5時間授業〉
- 5日(金) 委員会③
- 8日(月) 登校日になりました
- 9日(火) 参観日週間
- 10日(水) 参観日週間
小中合同研〈全校5時間授業〉
- 11日(木) 参観日週間

- 12日(金) 委員会④
- 15日(月) 一斉下校訓練〈全校5時間授業〉
- 18日(木) 学級経営・支援委員会
〈全校5時間授業〉
- 19日(金) クラブ①
- 22日(月) 個人懇談①〈全校5時間授業〉
- 23日(火) 個人懇談②〈全校5時間授業〉
- 24日(水) 個人懇談③〈全校5時間授業〉
図書交換日
- 25日(木) 個人懇談④〈全校5時間授業〉
- 26日(金) 委員会⑤
- 29日(月) 個人懇談⑤〈全校5時間授業〉
- 30日(火) 個人懇談⑥〈全校5時間授業〉
貯金日